

Confidential

# みどりクラウド らくらく出荷のご紹介

2026.1.26 IPSCA第2回露地野菜・花き作プラットフォーム資料

株式会社セラク  
みどりクラウド事業部

# 株式会社セラクについて

## 会社概要

社名	株式会社セラク（英文名 SERAKU Co.,Ltd）
設立	1987年12月
代表者	代表取締役 宮崎龍己
資本金	312,433,588円（2025年8月末現在）
従業員数	連結3,355名（2025年8月末現在）
所在地	東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア
グループ会社	株式会社セラクCCC 株式会社セラクビジネスソリューションズ AND Think 株式会社 株式会社マインド
市場	東京証券取引所スタンダード市場 （証券コード：6199）
事業所所在地	●東京本社 ●札幌支社 ●横浜支社 ●名古屋支社 ●大阪支社 ●福岡支社
農業IT研究所	●島根県奥出雲町 ●長崎県南島原市

## 主な事業内容

### デジタルインテグレーション

#### ITシステム構築・運用・保守

- ITインフラ構築・運用
- ITシステム運用
- インフラソリューション

#### クラウド&ソリューション

- IoTクラウドサポートセンター
- サイバーセキュリティ

#### 各種IT支援

- 金融社会システム
- 情報通信システム
- エンタープライズシステム
- サービスマネジメント
- QA（品質保証領域）

#### クラウドシステム定着・活用支援

- COMPANY導入・運用支援
- 各種クラウドシステム定着・活用支援
- Salesforce定着・活用支援
- デジタルマーケティング支援
- データサイエンス

### みどりクラウド

#### 農水産DXプラットフォーム

- 園場環境/畜舎環境計測・制御

### 機械設計エンジニアリング

#### セラクビジネスソリューションズ

- 機械設計、解析、精算技術

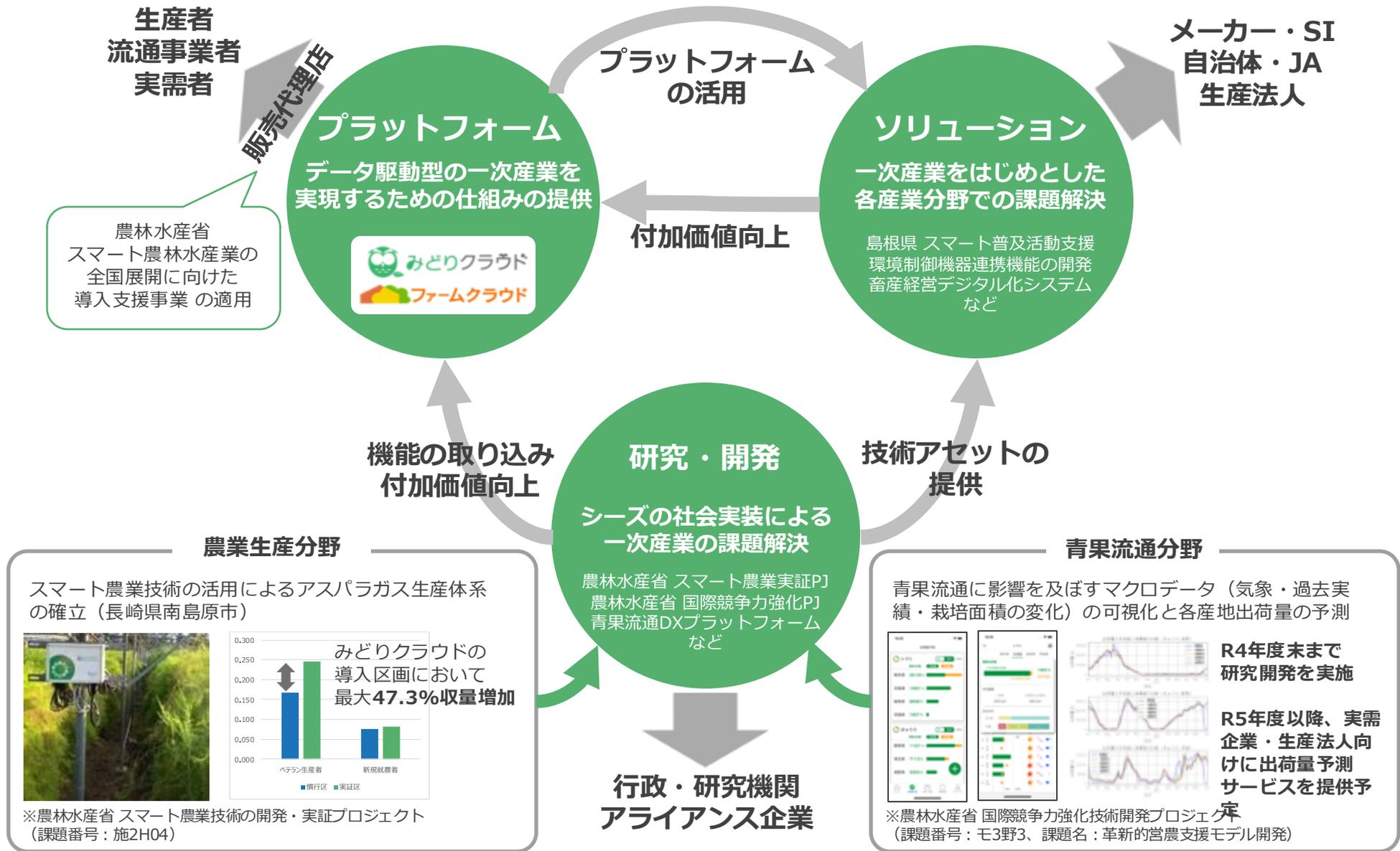
#### 農水産ソリューション

- DXソリューション
- 営農販売事業DX化サービス

#### データサイエンス

- データサイエンスソリューション
- 生成AIサービス（NewtonX）

# みどりクラウド事業概要



## 環境モニタリング・環境制御・作業記録 みどりクラウド

生産者

### 環境モニタリング



最大36個のセンサーで圃場環境を2分毎に計測  
異常な環境発生時には警報通知

温度・湿度・日射量・CO<sub>2</sub>濃度・土壌環境  
(温度・水分・EC)・風向風速・水位・静止画 他

**圃場環境の可視化・警報機能によるリスク回避**

### 自動環境制御



様々なメーカーの機器をみどりクラウドと連携  
圃場環境や液肥管理を自動化

天窓・側窓・カーテン・暖房・換気扇・タイマー・  
警報・CO<sub>2</sub>施用 ほか

**自動管理による省力化・環境変化への自動対応**

圃場環境の可視化と自動制御で栽培の再現性を向上  
気候変動の中でも安定した農業生産を実現

## 栽培データ活用支援 みどりクラウド データ分析サービス

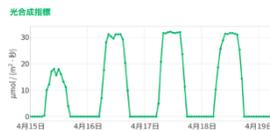
生産者

普及員

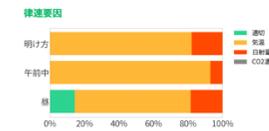
JA

みどりボックスや他社の環境モニタリングデータを取り込み  
自動的にデータ分析・栽培の改善点を提案

### 光合成ポテンシャル



### 光合成律速要因



### 病害リスク



### 管理パターン



- データから栽培改善に役立つ分析結果を表示
- 他社のセンサーデータも取り込んで分析可能
- LINEで毎週栽培レポートを受信可能
- 今後、続々と分析項目を追加予定!  
画像解析(過繁茂/黄化状況分析)など

日々蓄積していく環境データを有効活用  
データを活用して反収UPを実現

## 集出荷デジタル化サービス みどりクラウドらくらく出荷

生産者

JA

出荷・荷受に要する業務負担を軽減し、持続可能な販売事業を実現  
荷物情報を早く正確に伝達することで物流・販売の課題を緩和



生産者情報・規格・出荷先・量目などの情報が入ったバーコードラベルを出力しておき、出荷用段ボールに貼り付け。出荷時にラベルをスマートフォンで読み取るだけで、自動的に数量を集計し、出荷データを作成。

**ラベルが持つ個体識別番号により、二重カウントを防止**  
独自アプリでラベルを撮影すると複数のバーコードを一気に認識

JAの荷受に要する時間を85%削減  
データの活用により精算労力の削減や有利販売の実現へ

## 青果流通支援 産地出荷量予測サービス

生産者

JA

卸・仲卸

実需企業

トマト・きゅうり・大根・キャベツ・新玉ねぎの国内主要10産地の1週間の流通量を5週間先まで予測



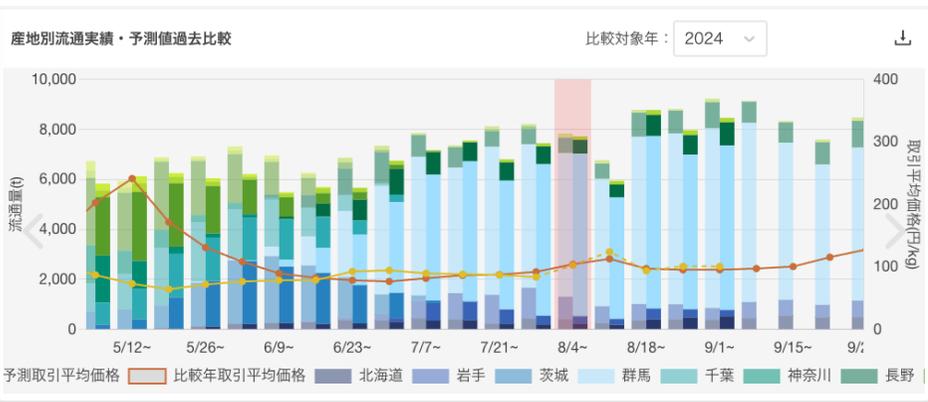
過去の中央卸売市場の流通量と気象データから未来の流通量を予測するAIモデルによって毎週予測結果を提供

週次出荷量予測区間  
上限値(90%分位点)  
中央値(50%分位点)  
下限値(10%分位点)

事前に把握が困難な青果流通量を事前に把握することで生産者や青果流通事業者の経営リスクを回避

# 産地出荷量予測（市況データ分析）

## 産地出荷量予測と市場流通データの可視化



## 1週間単位での全国の中央卸売市場データの可視化

- キャベツ・トマト・きゅうり・玉ねぎ・大根・かんしょ・ピーマン
- 産地別出荷量（実績＋一部品目は5週間先までの予測）
  - 値動き（実績＋一部品目は直近市場規模と産地出荷量予測からの予測）
  - 産地別出荷先市場と等階級別出荷量と中値平均
  - 前年同時期との比較

産地出荷量予測は、ウェザーニューズと共同で開発したAIモデルによって提供しています。80%の予測範囲の中央値を用いて表示を行なっています。

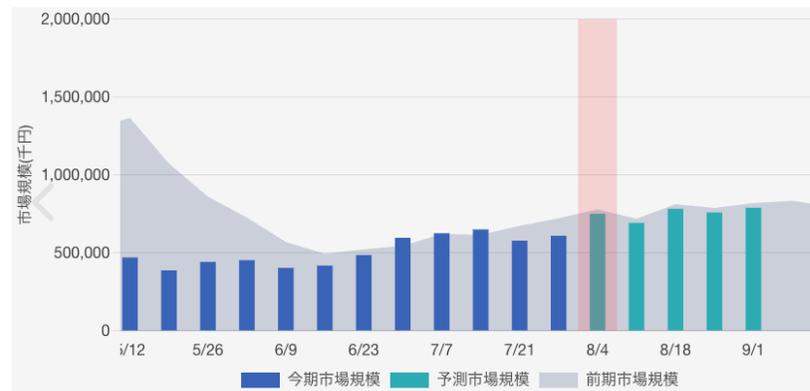
## 青果流通動態分析

産地	000 全産地合計	001 北海道	003 岩手	008 茨城	010 群馬	012 千葉	020 長野	023 愛知	043 熊本
流通量(トン)	39458.3	1423.8	2476.5	815.5	24721.6	180.9	3861.9	193.1	
0401 仙台市	2.2%	0.0%	8.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
1301 東京都	37.6%	0.0%	84.3%	41.0%	41.5%	64.7%	4.5%	0.0%	
1401 横浜市	9.8%	0.0%	7.6%	31.2%	10.8%	24.9%	0.4%	0.0%	
1701 金沢市	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.1%	0.0%	
2301 名古屋市	10.8%	0.0%	0.0%	11.2%	9.9%	0.0%	28.7%	97.4%	
2601 京都市	4.4%	0.0%	0.0%	6.6%	4.6%	6.1%	10.5%	0.0%	
2701 大阪市	14.1%	0.0%	0.0%	10.0%	14.7%	0.0%	42.0%	0.0%	
2801 神戸市	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	4.3%	4.7%	2.6%	
3401 広島市	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	7.7%	0.0%	
3701 高松市	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.8%	0.0%	
4001 北九州市	2.4%	2.8%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.2%	0.0%	
4002 福岡市	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	0.0%	0.4%	0.0%	
4701 沖縄県	1.6%	0.0%	0.1%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
5101 札幌市	3.6%	97.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

直近1ヶ月で、どの産地の荷物がどの年に出荷されているのかを示します。また、前年同時期との比較も可能です。

## 青果流通市場規模分析

全国  
主要10産地流通市場規模(千円)



流通量と取引価格を掛け合わせた市場規模の推移を示しています。昨年同時期との差異、直近の傾向を把握いただけます。

# 青果・花卉流通DXソリューション みどりクラウド らくらく出荷

らくらく出荷



産地のデジタル化を起点に、商流・物流・品質管理をデータで繋ぐ  
「青果・花卉流通DXソリューション」を提供



デジタル技術の活用をきっかけに青果や花卉などのサプライチェーンの  
変革を促し、農産物の付加価値拡大を支援

## 1. 商流のデジタル変革

多様な現場をまるっとデータ化

### 系統出荷の効率改善・高精度化

多様な入力手段の提供による全員参加できる  
仕組みの提供  
特許技術を活用し、高齢者から大規模生産者まで全ての生産者が同じ仕組みで荷物情報をデジタル化。

### 業務プロセスの刷新

「紙・目視」による計数や情報伝達を撤廃。  
デジタル検品・集計により情報伝達スピードと精度を改善。

### 契約出荷の最適化

#### 需給マッチングの自動化

産地と実需がオンラインでトレード。  
注文数量の生産者への数量割り当てをシステム上で完結。

#### 出荷業務の迅速化

デジタル検品と伝票作成自動化で正確かつスピーディーに処理

## 2. 物流効率の改善

効率的な物流手段の提供

### 市場リレー便の提供

#### 既存ロジインフラの活用

幹線便で運用されている市場便をネットワーク化し、リレー形式で産地から消費地へ接続

#### コストと品質の両立

宅配便より低価格でコールドチェーンを実現。モーダルシフトで2024年問題対策にも有効。

### 一気通貫なパレット物流

#### 多拠点間レンタルの実現

荷物データとパレット情報を紐付けて管理することで、従来の「2拠点間」の制約を打破。

#### 紛失リスクの最小化

産地から最終仕向地まで追跡可能になるため、紛失リスクが低下しパレット普及の後押しに。

## 3. 信頼のデジタル化

トレーサビリティと付加価値の創造

### 精密な品質管理と追跡

#### 自動でロット管理

ラベルを活用した場合、自動的にDB単位で個体識別番号を付与しロット管理をおこなうことができる。

#### トラブル時のバックトレース

トラブル時に当該個体がいつ、どこから、どこあてに出荷されたものであるのか即時に特定することが可能。流通停止も最小限の範囲で行うことができる。

### 有機JAS格付け管理のDX

#### コンプライアンスの自動化

いつ、どこの圃場からどれだけの農産物が出荷されたのか、有機JASに必要な記録を自動的に蓄積。

#### 検査負担の軽減

膨大な手書き記録簿の作成と集計に要する負担をゼロにし、検査準備を省力化。

# 1. 商流のデジタル変革 | 多様な生産現場に合わせた多様な管理手段

## 多種多様な荷受事情

荷姿の違い

選別者（個選・共選）

規格の決定方法（検査・機械選別・人による選別）

集荷場設備（予冷・貯蔵）

品種・等階級・入数などアイテム種類が膨大

端数荷受

混合荷受

横持ち

前日荷受・当日荷受

集荷場面積が狭い

職員立ち会い有無

PC・プリンタ・FAX・インターネットの有無

デジタル機器に不慣れ

荷受単位と販売単位の違い

専門職員の有無

パレット種類

荷受単位と荷姿が異なる

多様な荷受事情に合わせて効果的な方法をご提供

画一的方法だけでは対応は不可能

### 紙を使った荷受のデジタル化 OCRによるデータ化

OCRで読み取りやすい伝票を設計し、複合機などを使ってスキャンしたデータに対しOCRを行います。複写式伝票が不要となります。



一般的な複合機で  
1枚0.5秒程度で  
スキャン可能

データサイエンスの活用

### スマホがなくても大丈夫 テレビリモコンで数量入力

集荷場に配置したテレビに対して、テレビリモコンを用いて出荷量を入力。スマートフォンに不慣れな方でも、テレビリモコンであれば普段から操作していることから、容易に利用可能。



特許出願中

### 多規格品目でも負担にならない 出荷量入力によるデータ化

生産者が自身のスマートフォンで入力することでデータ化を行うアプローチは最もシンプルな方法です。規格数が多い品目では入力が煩雑となるという欠点があります。当社では、こうした品目であっても入力が負担にならない技術を開発しました。



特許出願中

### 最も正確なデータ化 ラベル読み取り

荷受データに必要なデータと個体識別番号を情報として含むQRコードを貼り付け、読み取ることでデータ化。QRコードに入れる情報は増減可能。ラベルサイズは変更可能で最大8cmx8cm。読み取った個体識別番号に対して、情報を後追いで追加することで、貯蔵品目の在庫管理にも利用することができる。

特許出願中

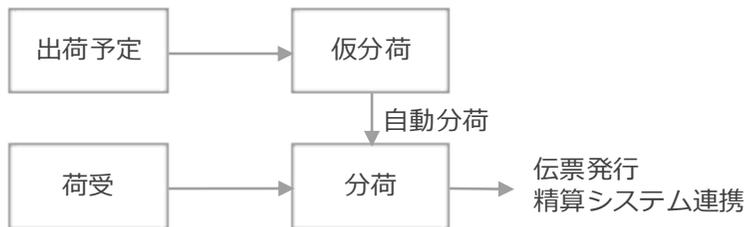
最も省力化効果が高く、  
多様な効果が得られる

そのほかにも現場の事情に合わせてオプション機能を提供し、省力化が実現できる業務フローを構築します。

# 1. 商流のデジタル変革 | 業務プロセスの刷新

## 荷物の仕分け

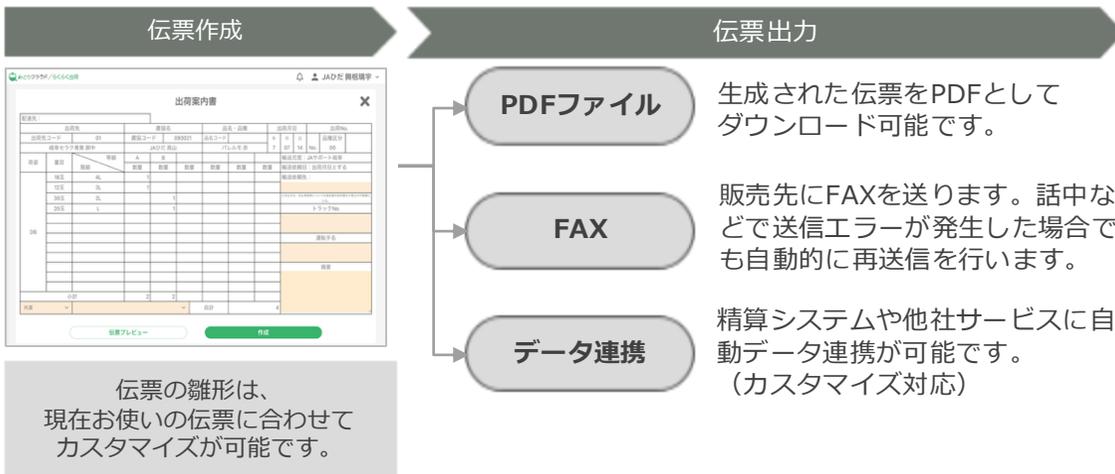
集荷場担当者は、データ化された荷物の数量をもとに、出荷先への振り分けを行うことができます。すでに荷物の数量はデータとして存在しているので、数を振り分けるだけで分荷作業が完了します。



規格	出荷可能	合計	伝票セラク青果	JFP	大田花き	産販事業課(伝票)	金正青果	中青	J/Aレポート
パプリカ(赤) (2)									
A4L 5kg 18玉									
B4L 2.5kg 8玉									
パプリカ(赤) (4)									
A4L 18玉 18玉									
A3L 12玉 12玉									
B2L 30玉 30玉									
BL 20玉 20玉									
パプリカ(黄) (2)									
A4L 8玉 8玉									
A2L 15玉 15玉									
合計	9	6	2						8

## 荷物の出荷(伝票作成・出力)

アプリを使って伝票を作成することができるので、筆圧が必要な複写式の伝票から解放されます。荷物の数量は分荷結果から自動的に引用されて表示されるので、備考や物流に関する情報を追加で入力するだけで伝票が出来上がります。作成された伝票は、PDFとしてダウンロード、インターネットFAXで送信、他システムとのデータ連携などを行うことが可能です。



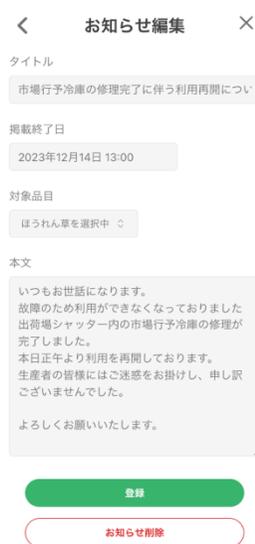
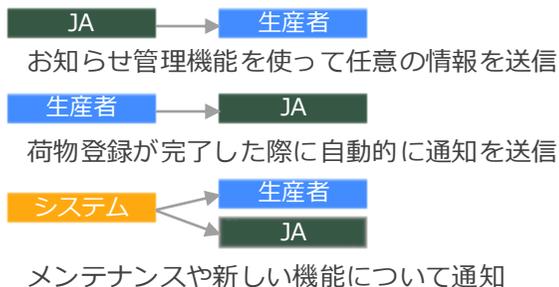
## システムによるFAX送信のメリット

- **FAXの未達トラブルを防ぐ**  
自動的に再送する機能のほか、FAXの送信状況をアプリ上で確認することができるため、もし送信エラーになったときも速やかに気づくことが可能となります。また、アプリ上から簡単に再送することができます。
- **遠隔からFAXが送信可能**  
アプリからFAXを送信することができるので、事務所にいなくても送信することができます。

# 1. 商流のデジタル変革 | 業務プロセスの刷新

## お知らせ機能

JA側から生産者に対してお知らせを通知、表示することができます。  
送信・表示対象となる生産者は、品目単位で設定が可能であり、送信すると生産者のスマートフォンに通知を表示いたします。  
また、生産者が荷物登録を行なった時に、JA側に通知が送信されます。



## 出荷データ集計（生産者）

らくらく出荷を導入いただくと、日々の出荷記録がシステム上に蓄積されていきます。  
こうした出荷実績を、生産者向けのアプリの中で自動的に集計して表示することができます。

自動集計の中では、出荷量だけでなく、規格比率も自動的に計算して表示を行うことが可能です。



## 分荷アシスト

入荷した荷物を販売先に仕分ける分荷作業は、前日までの取引や、市況状況を確認して設定を行う必要があり、特に規格数が多い品目では負担が高く、時間を要する作業の一つです。

みどりクラウドらくらく出荷では、前回の分荷実績データに基づいて、自動で各販売先の荷物比率を算出、自動的に数量を振り分ける機能があります。

優先的に振り分けたい販売先や、決まっている数量があればそれを振り分けた上で、残りを自動的に分荷することが可能です。

### くほうれん草 分荷(未分荷)×



さらに、JA様で運用されている精算システムから出力されるデータを取り込むカスタマイズを行うことで、生産者に販売結果の通知や、支払い予定の案内を行うことができます。  
精算結果が早期に生産者に伝わることで、例えば月末の支払い前にどれだけ入金があるのかが把握でき、農業経営上の資金繰りを安定化させることができます。



※画像は現在開発中のイメージであり、デザインなどが変更となる場合があります。

# 1. 商流のデジタル変革 | ラベルを活用した計数・伝票のデジタル化

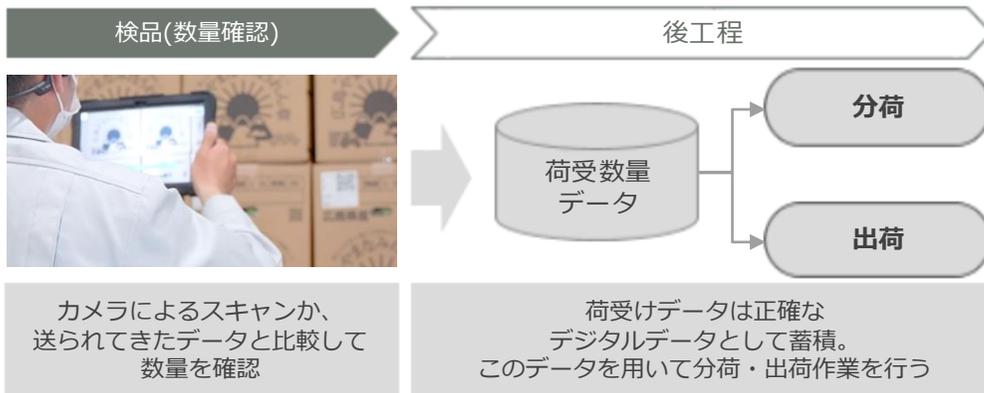
## 生産者の出荷作業

生産者は事前に生産者情報・規格・出荷先・量目などの情報が入ったバーコードラベルを出力して、出荷用段ボールに貼り付けておきます。選別した青果を段ボールに梱包し、出荷時にスマートフォンで読み取るだけで、自動的に数量を集計し、出荷データを作ります。



## 集荷場荷受け担当者の集荷（検品）作業

集荷場では荷物に貼られたバーコードラベルをスマートフォンやタブレットで読み取って数量を確認。自動的にデータが出来上がるので、入力作業が不要になります。規格数が多くても自動的に集計してくれるので負担を大幅に軽減できます。



## カメラを使った検品の特徴

- **バーコードには1枚ずつ異なる番号が振られているから、二重カウントしない**

バーコードに含まれる番号には、生産者番号、品目、規格、出荷先、出荷団体といった情報のほかに、連番が振られています。なので全てのラベルが異なる番号を持っているので何度読み取っても1つの荷物は一個としてカウントします。

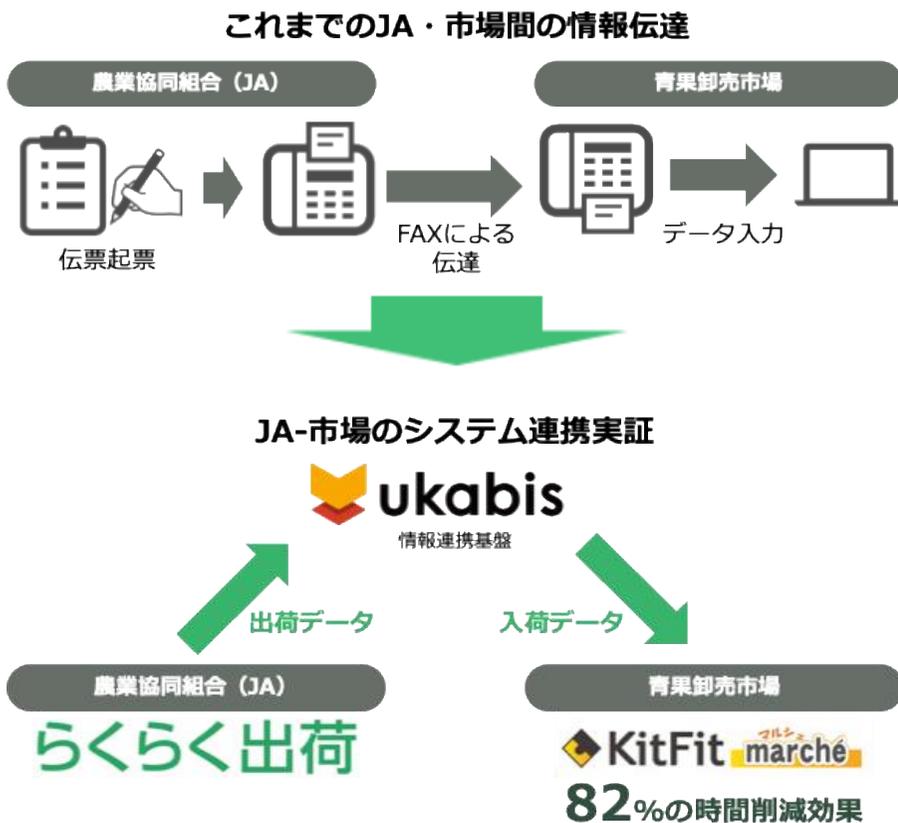
- **独自に開発したスマートフォンアプリで、カメラをかざすと複数のバーコードを一気に認識**

一般的なバーコードリーダーでは、1つずつバーコードを読み取りますが、らくらく出荷ではスマートフォンのカメラを使って1/20秒間に10個のバーコードを同時に認識します。つまり、1秒間に最大200個のバーコードを認識して解釈することができます。認識したバーコードは画面上に表示されるので、どれを認識したのか一目でわかります。

# 1. 商流のデジタル変革 | 業務プロセスの改善

## 荷物データを市場基幹システムへ自動連携

JAと市場のシステム間でデータ連携を実施。  
市場での荷受け入力作業時間を大幅削減、

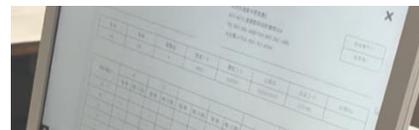


## パレット単位の荷物と伝票データを紐付け

パレットの個体識別番号と伝票を紐付け  
パレット単位で検品を可能に



らくらく出荷による  
DB単位の荷物データ化



伝票の発行



パレット用ラベル発行

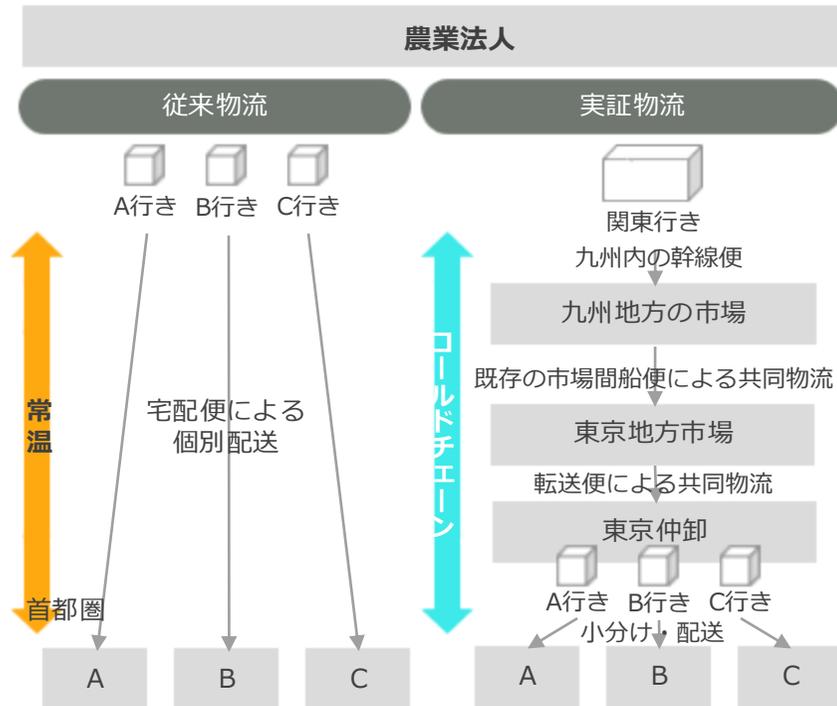


パレット単位の荷物と  
伝票を自動的に紐付け

上記は雑パレットを用いたケースですが、RFID付きレンタルパレットであれば、パレット横にQRコードが印字されているため、ラベルの貼り付けは不要です。

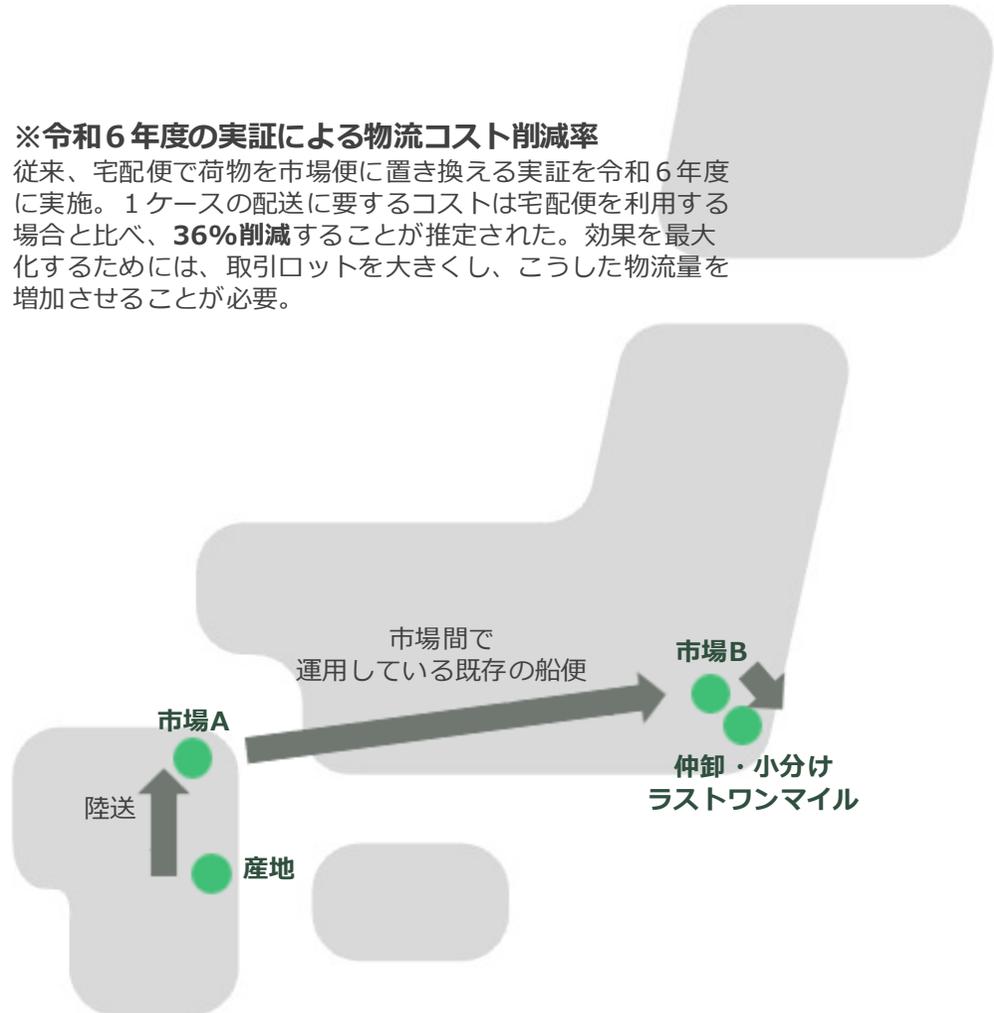
## 2. 物流効率の改善 | 市場便を活用した合理的な物流

多くが宅配便による個配送が行われている有機農産物に対して、市場転送便を活用することで物流コストの低減と物流効率化を図る



### ※令和6年度の実証による物流コスト削減率

従来、宅配便で荷物を市場便に置き換える実証を令和6年度に実施。1ケースの配送に要するコストは宅配便を利用する場合と比べ、**36%削減**することが推定された。効果を最大化するためには、取引ロットを大きくし、こうした物流量を増加させることが必要。

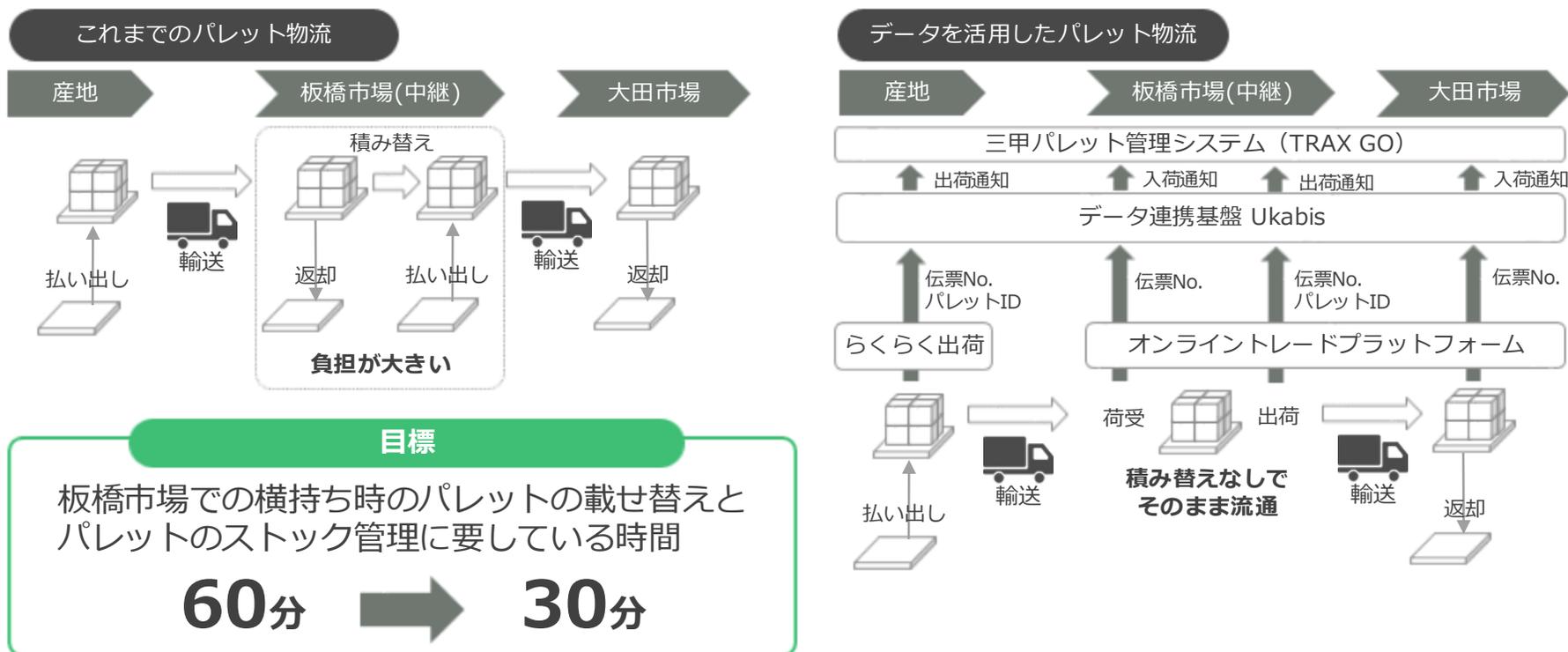


### 青果流通におけるパレット物流の課題

- ・ 荷物の中継地点でパレットの載せ替えが必要
- ・ 中継地点でパレットの返却と払い出しといったパレット動態管理作業が必要



データ連携基盤Ukabisを中心に産地・市場・物流の入出荷管理システムを連携させることでパレット運用の負担を軽減



## 2. 物流効率の改善 | 手荷役の廃止と中間物流拠点整備による流通合理化

集荷場の巡回による積載率の向上と予冷による物流リードタイムの確保に取り組んでいたが、手荷役と巡回によるオーバーヘッドにより、産地での待ち時間と荷役が2時間を超えていた

物流拠点の集約による事前横持ち

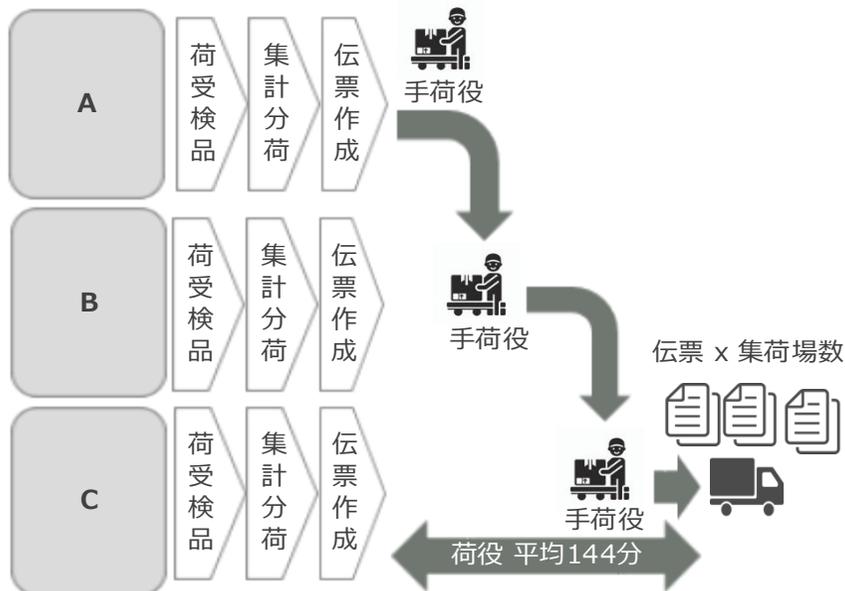
手荷役を削減し作業を効率化

伝票の発行を集約化

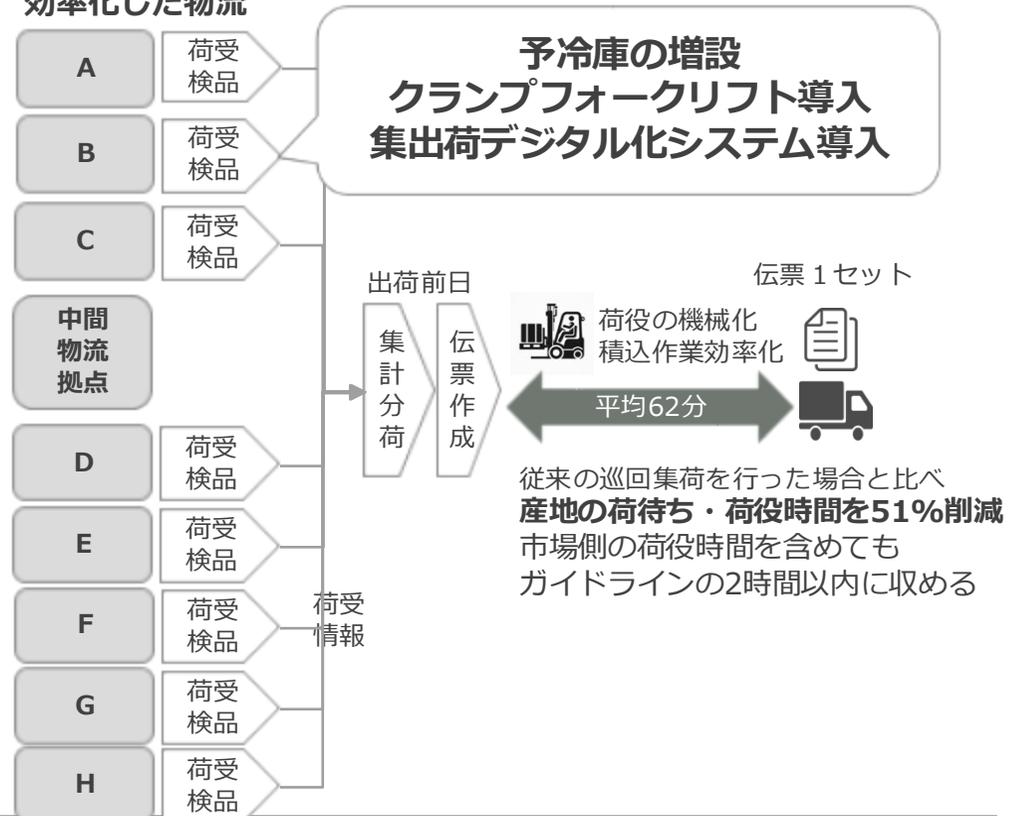
荷待ち・荷役作業時間を  
51%削減し62分まで圧縮（計画）

これまで巡回して集荷を行っていた際に要していた荷待ち・荷役時間を削減し、物流の適正化・生産性向上に向けたガイドラインに適合させる

現在の物流の例 巡回して集荷する場合



効率化した物流



### 3. 信頼のデジタル化 | 有機JAS格付け管理の自動化



有機JASマーク付きラベルの発行  
(ラベルの自動在庫計上)



ラベルを貼り付け



スマホで読み取り



袋単位での格付けの場合は、ラベル使用枚数を登録

検査に必要な格付け記録書類を自動生成



納品書・送り状を自動生成

納品書		No. _____	
(株)大迫 様 東京富士青果 宛付			
〒910-0001 福井県福井市大迫町1-1-1 大迫株式会社 倉庫部			
取引先住所			
収合合計金額		数量	
品名	入量	単位	JAS 規格名
有機グリーンリーフ	16	200g	32 5SA100
有機グリーンリーフ	16	200g	32 803
有機グリーンリーフ	12	200g	34 803
有機グリーンリーフ	16	200g	37 803
有機グリーンリーフ	10	500g	20 605
有機グリーンリーフ	2	1kg	4 605
合計			
金額	円	税別	消費税別
金額	円	税別	消費税別
備考			

有機JAS栽培において負担となる格付け記録・検査対応を大幅省力化  
約30分/日 → 10分/日まで短縮(見込)

# 事例 | 以前までのJAひろしまでの集出荷の流れ

選別・計数



選別したものを梱包  
梱包した荷物を目視でカウント  
(3人で行なっている)

伝票作成



生産者番号・数量などを  
手書きで伝票に記入  
(40秒/枚)

数量確認と訂正



数量を確認して、間違いが  
あれば訂正  
(90秒)

FAXによる伝票内容を  
入力して精算を行う

目視による計数と手書き入力によって情報精度が低く  
毎日誰かが間違えている状態

数量確認と訂正



規格毎に  
各生産者の伝票と突合  
(90秒/規格)

荷受入力・分荷



生産者伝票の数量を入力  
契約分の分荷  
(11秒/生産者 + 20秒/品目)

送り状作成



送り状を手書きで作成  
(150秒/販売先)

分荷・数量確認



荷物を仕分けながら  
数量を確認  
(180秒/品目)

FAX送信



伝票を切り離して  
FAX送信  
(12秒/出荷先+30秒/出荷先)

繰り返し行われる情報の複製によって情報精度は低下するが、繰り返し確認することでその正確性を高めている  
事務所と集荷場を往復する必要がある

# 事例 | JAひろしまらくらく出荷導入後の集出荷の流れ

ラベル印刷



画面に従って  
品目・生産者などを選択  
バーコードラベルを印刷

貼り付け・梱包



段ボールにラベルを  
貼り付け  
収穫した青果を選別し、  
段ボールに梱包

バーコード読み取り



バーコードを  
スマートフォンで  
読み取って荷物を登録  
(1.75秒/箱)



出荷処理



出荷総量を確認して  
ボタンを押して出荷完了  
(2秒)

数量確認・検品



タブレットでQRコードを  
読み取ることで数を確認  
(10秒/規格)

分荷・伝票作成・数量確認・FAX



自動集計されたデータを使って分  
荷・伝票作成・数量確認を行い、  
FAX送信  
(180秒/品目 + FAX送信3秒)

共販分については送られてきた  
データに基づいて  
全農ひろしまにて分荷・販売

らくらく出荷から  
出漁された荷受データを利用して  
精算業務

## 課題

### ● 集出荷を担当する営農指導員の入れ替わりと減員

営農指導員が集出荷を担当しているため、集出荷業務に追われ本来の営農指導が十分に行えない。また、減員に伴い集出荷に要する時間が増加し、生産者一人にかけられる栽培指導時間が減少している。

### ● 販売業務による業務負荷の増大

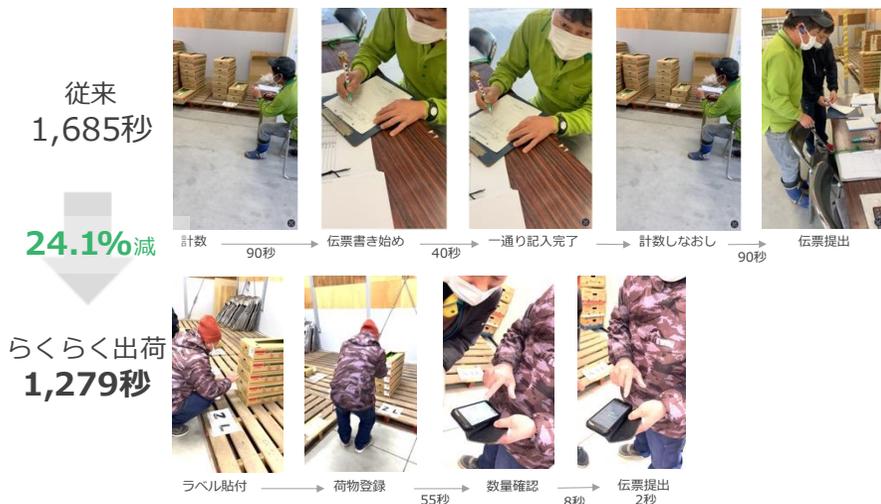
営農指導員としての業務のほか、集出荷業務を行っており、かつ休日の荷受けも担当することから業務負担が大きくなっている。こうした負担はミスの誘発やFAXの未着などの事故発生リスクを高め、さらには、営農指導員の離職リスクを高める一因となっている。

## 青果集出荷業務のDX化による省力化 取引先からの信用向上と有利販売の実現



## 導入による効果

### 生産者業務フローの改善



### 集荷場業務フローの改善



## 事例 | JAひろしま様がらくらく出荷導入によって得られた（今後得られる）効果

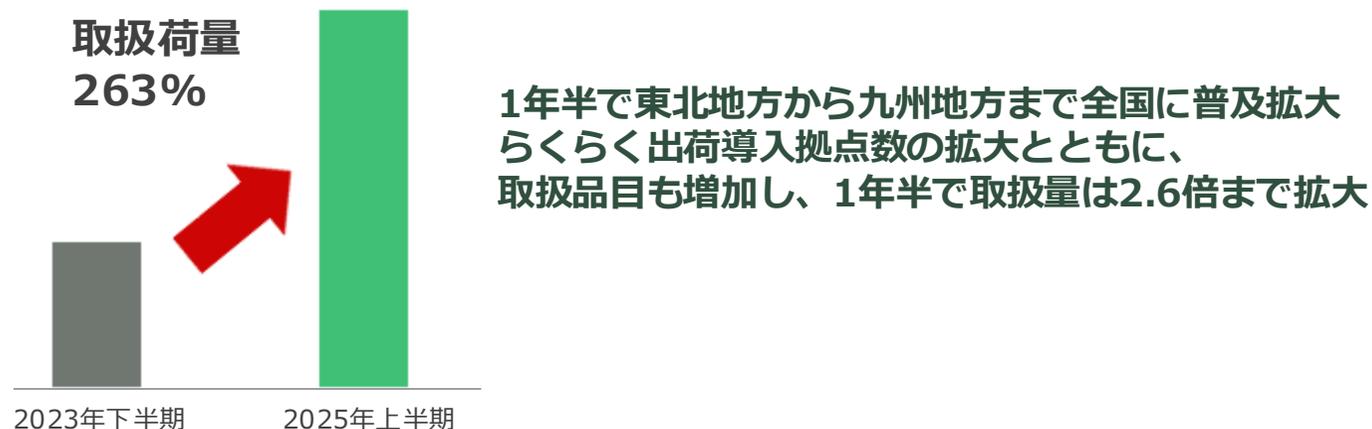
---

- 集出荷に要する時間短縮による**荷待ち発生**の回避
- 荷受・販売データの**精度が向上**  
（3日に2日の間違い → 間違いがゼロに）
- 集出荷業務を**パートが対応可能**に  
（営農指導員は本来の業務に集中できるようになった）
- 精算業務の大部分を占めている荷受データの入力が不要となり、  
複数拠点の**精算を集約可能**に
- 生産者が出荷のために要している**労力を削減**
- 精算結果を速やかに生産者に通知することで、**生産者の資金繰りをやりやすく**
- **精算に2週間以上を要していたが、5日程度で完了**するように  
（残業や他部門からの応援が不要に）
- クレーム発生時に**荷物の出荷日を確認可能**に

# 青果流通のデジタル化を推進するために

2023年4月のサービス開始後、全国の多くのJA様、農業法人様へのご支援を行って参りました。

2023年後半 → 2025年前半6ヶ月間比



より推進を進めていくために

青果流通と他産業商品の流通を比較すると、バリューチェーンに関わる組織・人・システムの多様性、合理的な業務手順の確立度、マスターデータの整備状況、事業者の資本金体力など、多くの面で大きな違いがあります。工業分野では商品規格・業務フロー・情報システムが統一されていることが多い一方、青果流通では現場語や例外対応が多く、属人的な運用が主流です。このため、デジタル化に際しては現場の多様性を踏まえた段階的・部分的な最適化が求められます。

- 部分最適を積み重ねるアプローチ  
全体一斉ではなく現場ごとに段階的に進める  
まずはN:N取引の中で紙が残っても許容できる業務フロー
- 中間データ基盤（Ukabis等）の活用によるベンダーフリー化とオープンなデータ交換
- 電子処理を標準とし、紙運用が例外となるような商文化の形成（例：青果卸における産地に対するFAX伝票処理手数料導入など）
- 業務フローの整理と、現場業務の標準化・可視化
- 責任分界・訂正権限・証憑管理等の電子化に伴うルール整備（業務手順をデジタル標準に）
- 現場の環境整備と機器導入（PC・タブレット・プリンタ）
- 政策的テコ入れによる臨界点突破（N:N取引に由来する最後の1件問題を突破）

NewtonXは、法人向けに特化したAIアシスタントサービスで、  
 OpenAIのChatGPTを活用した安全性と生産性を兼ね備えたソリューションです。  
 業務効率の向上や情報セキュリティの確保を目的とし、組織全体のAI活用を支援します。

安全性の確保

- **データの非学習化**  
 入力されたデータはモデルの再学習  
 に使用されません。
- **多要素認証**  
 企業向けの厳格な認証ルールを適用
- **情報漏洩防止**  
 機密情報や禁止ワード入力時のア  
 ラート機能を搭載

業務効率化

- **ナレッジコネクト (RAG) 機能**  
 内部データを活用した正確な回答を  
 提供
- **プロンプトテンプレート**  
 理想的な質問文を簡単に作成可能
- **利用状況の可視化**  
 ダッシュボードにより組織全体の活  
 用を分析

導入から活用までのサポート

- 質問文 (プロンプト) の提供と相談
- 勉強会の実施や活用推進支援
- 利用状況のレポート化 (月次)

	NewtonX	ChatGPT
回答精度	独自調整で誤情報の出力 を低減	無料版では誤情報を出力 する可能性あり
セキュリティ	多要素認証、入力データ の非学習化	デフォルトではデータ再 学習が行われる
管理機能	アカウントの一元管理、 利用ログ取得	個人単位での登録、管理 機能なし

